

感染予防医学講座

Clinical Infectious Diseases

教授	山本 善裕	Yoshihiro Yamamoto
講師	酒巻 一平	Ippei Sakamaki
助教	東 祥嗣	Yoshitsugu Higashi
診療助手	上野 亨敏	Akitoshi Ueno
診療助手	川筋 仁史	Hitoshi Kawasuji
診療助手	宮嶋 友希	Yuki Miyajima

◆ 著 書

- 1) 東 祥嗣, 山本善裕. 感染症の診断ってこんなちょっとしたことで差がついちゃうんですね. 柳原克紀編集. 東京: 南江堂; 2017. インフルエンザ抗原検査が陰性なのに抗インフルエンザ薬投与ってどういうこと? ; p. 33-4.
- 2) 山本善裕, 井村穰二. 呼吸器疾患: CRP アプローチ. 藤田次郎, 大舘祐治編集. 東京: 南江堂; 2017. 気管支拡張症; p. 115-7.
- 3) 山本善裕. 1336 専門家による私の治療. 2017-18 年度版. 猿田享男, 北村惣一郎監修. 東京: 日本医事新報社; 2017. 誤嚥性肺炎; p. 188-90.
- 4) 岩崎博道, 伊藤和広, 酒巻一平. 1336 専門家による私の治療. 2017-18 年度版. 猿田享男, 北村惣一郎監修. 東京: 日本医事新報社; 2017. 日本紅斑熱; p. 914-6.
- 5) 岩崎博道, 酒巻一平. 1336 専門家による私の治療. 2017-18 年度版. 猿田享男, 北村惣一郎監修. 東京: 日本医事新報社; 2017. Q 熱; p. 924-5.
- 6) 岩崎博道, 伊藤和広, 酒巻一平. 1336 専門家による私の治療. 2017-18 年度版. 猿田享男, 北村惣一郎監修. 東京: 日本医事新報社; 2017. つつが虫病; p. 925-6.
- 7) 山本善裕. 呼吸器疾患診断治療アプローチ 呼吸器感染症. 三嶋理晃総編集, 藤田次郎専門編集. 東京: 中山書店; 2017. 急性気管支炎; p. 118-21.

◆ 原 著

- 1) Nishijo N, Tsuji Y, Matsunaga K, Kutsukake M, Okazaki F, Fukumori S, Kasai H, Hiraki Y, Sakamaki I, Yamamoto Y, Karube Y, To H. Mechanism underlying Linezolid-induced thrombocytopenia in a chronic kidney failure mouse model. *J Pharmacol Pharmacother.* 2017 Jan-Mar; 8(1): 8-13.
- 2) Ogami C, Tsuji Y, Kasai H, Hiraki Y, Yamamoto Y, Matsunaga K, Karube Y, To H. Evaluation phaimacokinetics and the stability of daptomycin in serum at various temperatures. *Int J Infect Dis.* 2017 Apr; 57: 38-43.
- 3) Nishikawa H, Fukuda Y, Mitsuyama J, Tashiro M, Tanaka A, Takazono T, Saijo T, Yamamoto K, Nakamura S, Imamura Y, Miyazaki T, Takeya H, Yamamoto Y, Yanagihara K, Mukae H, Kohno S, Izumikawa K. *In vitro* and *In vivo* antifungal activities of T-2307, a novel arylamidine, against *Cryptococcus gattii*: an emerging fungal pathogen. *J Antimicrob Chemother.* 2017 Jun 1; 72(6): 1709-13.
- 4) Tsuji Y, Holford NH, Kasai H, Ogami C, Heo YA, Higashi Y, Mizoguchi A, To H, Yamamoto Y. Population pharmacokinetics and pharmacodynamics of linezolid-induced thrombocytopenia in hospitalized patients. *Br J Clin Pharmacol.* 2017 Aug; 83(8): 1758-72.
- 5) Araie H, Sakamaki I, Matsuda Y, Tai K, Ikegaya S, Itoh K, Kishi S, Oiwa K, Okura M, Tasaki T, Hosono N, Ueda T, Yamauchi T. 3A Comparison between R-THP-COP and R-CHOP Regimens for the Treatment of Diffuse Large B-cell Lymphoma in Old Patients: A Single-institution Analysis. *Intern Med.* 2017 Sep 15; 56(18): 2407-13.

◆ 症例報告

- 1) Higashi Y, Nakamura S, Ashizawa N, Oshima K, Tanaka A, Miyazaki T, Izumikawa K, Yanagihara K, Yamamoto Y, Miyazaki Y, Mukae H, Kohno S. Pulmonary Actinomycosis Mimicking Pulmonary Aspergilloma and a Brief Review of the Literature. *Intern Med.* 2017; 56(4): 449-53.
- 2) Higashi Y, Nakamura S, Niimi H, Ueno T, Matsumoto K, Kawago K, Sakamaki I, Kitajima I, Yamamoto Y. Spondylodiscitis

due to *Parvimonas micra* diagnosed by the melting temperature mapping method: a case report. *BMC Infect Dis.* 2017 Aug 23; 17(1): 584.

- 3) 松本玲奈, 伊藤和広, 細野奈穂子, 松田安史, 田居克規, 酒巻一平, 青木 剛, 山崎宏人, 中尾眞二, 山内高弘. 臍帯血移植後に二次性免疫性血小板減少症を発症した急性骨髄性白血病. *臨床血液.* 2017; 58(5): 433-7.

◆ 総 説

- 1) 東 祥嗣, 山本善裕. ダプトマイシンによる治療と個別化医療. 化学療法の領域. 2017 Apr ; 33(4) : 607-13.
- 2) 山本善裕. 呼吸器感染症治療薬の上手な使い方—症例から紐解く達人の技 急性気管支炎に対して抗菌薬を投与していいの?. *呼吸器ジャーナル.* 2017 Aug ; 65(3) : 390-3.
- 3) 宮嶋友希, 山本善裕. 感染症診療を変える新しい診断技術・検査法 L7/L12 イムノクロマトグラフィ法. 化学療法の領域. 2017 Oct ; 33(10) : 2021-6.

◆ 学会報告

- 1) Qin H, Wei G, Sakamaki I, Dong Z, Smith DL, Wen F, Sun H, Cha S, Neelapu S, Kwak LW. Drug resistant B-cell tumors eliminated novel therapeutic antibodies in vivo. AACR annual meeting; 2017 Apr 1-5; Washington DC.
- 2) Itadani K, Watatsuki T, Eto M, Kadota T, Nomura N, Yamagishi Y, Suematsu H, Iwasaki H, Yamamoto Y, Mikamo H. Antibacterial Activity of Solithromycin (CEM-101/T-4288) and Comparators Against Clinical Isolates of *Streptococcus pneumoniae*, *Streptococcus pyogenes*, and *Haemophilus influenzae* isolated in Japan. ASM microbe; 2017 Jun 1-5; New Orleans.
- 3) Ito K, Shigemi H, Tai K, Sakamaki I, Ueda T, Yamauchi T, Iwasaki H. Retrospective analysis of tetracycline and new quinolone therapy for Japanese spotted fever. ESCCAR-International Congress on Rickettsia and other Intracellular Bacteria; 2017 Jun 19-21; Marceille.
- 4) Ito K, Shigemi H, Matsumoto R, Tai K, Sakamaki I, Kawajiri S, Kitai R, Ueda T, Yamauchi T, Iwasaki H. An Indian male case diagnosed neurocysticercosis in Japan. The 6th Bacteriology Asia Pacific; 2017 Sep 13-14; Singapore.
- 5) Ogami C, Tsuji Y, Kasai H, Yamamoto Y, To H. Instability of daptomycin in serum at various temperatures may affect its pharmacokinetics. ICC; 2017 Nov 24-27; Taipei.
- 6) 森田未香, 杉江和茂, 関口敬文, 坂本純子, 野手良剛, 山本善裕, 綿引正則. ロシアより難治性皮膚潰瘍の治療目的で来日し、多剤耐性アシネトバクターが分離された一例. 第 28 回日本臨床微生物学会総会・学術集会 ; 2017 Jan 20-22 ; 長崎.
- 7) 岡澤成祐, 勢藤善大, 木戸敏喜, 田中宏明, 下川一生, 徳井宏太郎, 高 千紘, 神原健太, 猪又峰彦, 今西信悟, 山田 徹, 林 龍二, 松井祥子, 東 祥嗣, 山本善裕, 戸邊一之. 疑似電子カルテを用いた初期臨床研修医および学生に対する咳嗽患者診療ロールプレイ時の診断プロセスの解析. 第 71 回富山県医学会 ; 2017 Jan 29 ; 富山.
- 8) 前田慎一, 中川泰雅, 斎藤律子, 青木泰子, 北川洋子, 山本善裕. 挿管患者の口腔ケアに感染管理ベストプラクティスを導入した効果. 第 32 回日本環境感染学会総会・学術集会 ; 2017 Feb 24-25 ; 神戸.
- 9) 酒巻一平, 東 祥嗣, 松本かおる, 河合暦美, 山本善裕. カンジダ椎体椎間板炎の 2 例. 日本医真菌学会東海・北陸支部 第 2 回深在性真菌症部会 ; 2017 Mar 25 ; 富山.
- 10) 河合暦美, 松本かおる, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. ART 開始後早期に侵襲性肺アスペルギルス症を発症した AIDS の一例. 日本医真菌学会東海・北陸支部 第 2 回深在性真菌症部会 ; 2017 Mar 25 ; 富山.
- 11) 東 祥嗣*, 松本かおる, 河合暦美, 酒巻一平, 山本善裕. 菌血症診療における Active Consultation の有用性の検討. 第 91 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 65 回日本化学療法学会学術集会 合同学会 ; 2017 Apr 6-8 ; 東京.
- 12) 山本善裕, 福森史郎, 辻 泰弘, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 酒巻一平. リネゾリドを適正使用するために用量調整は必要か?. 第 91 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 65 回日本化学療法学会学術集会 合同学会 ; 2017 Apr 6-8 ; 東京.
- 13) 福森史郎, 辻 泰弘, 尾上知佳, 浅野雅俊, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. リネゾリドの血液毒性を予測する目標薬物血中濃度の検討. 第 91 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 65 回日本化学療法学会学術集会 合同学会 ; 2017 Apr 6-8 ; 東京.
- 14) 浅野雅俊, 辻 泰弘, 尾上知佳, 福森史郎, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. リネゾリド薬物動態特性にリファンピシンの併用が及ぼす影響. 第 91 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 65 回日本化学療法学会学術集会 合同学会 ; 2017 Apr 6-8 ; 東京.

- 15) 酒巻一平, 田居克規, 伊藤和広, 山本善裕, 岩崎博道. 日本紅斑熱に対するテトラサイクリン系抗菌薬およびニューキノロン系抗菌薬併用によるサイトカイン産生抑制の意義. 第 91 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 65 回日本化学療法学会学術集会 合同学会; 2017 Apr 6-8; 東京.
- 16) 門田卓美, 野村信彦, 満山順一, 浅野裕子, 岩崎博道, 大野智子, 澤村治樹, 柴田尚宏, 末松寛之, 松川洋子, 松原茂規, 山岡一清, 山本善裕, 山岸由佳, 三鴨廣繁. 2015~2016 年に中部地方の医療機関で分離された肺炎球菌の薬剤感受性. 第 91 回日本感染症学会総会・学術講演会 第 65 回日本化学療法学会学術集会 合同学会; 2017 Apr 6-8; 東京.
- 17) 門田卓美, 二口直子, 野村信彦, 満山順一, 浅野裕子, 岩崎博道, 大野智子, 澤村治樹, 柴田尚宏, 末松寛之, 松川洋子, 松原茂規, 山岡一清, 山本善裕, 山岸由佳, 三鴨廣繁. 2015~2016 年に中部地方の医療機関で分離された *Streptococcus pyogenes* の薬剤感受性. 第 65 回日本化学療法学会学術集会 合同学会; 2017 Apr 6-8; 東京.
- 18) 菱川裕一郎, 林 哲章, 池端良紀, 飯田裕朗, 伊藤崇敏, 渡部明彦, 藤内靖喜, 北村 寛, 河合暦美, 酒巻一平, 山本善裕. 経会陰的ドレナージが有効であった前立腺膿瘍の 1 例. 第 456 回日本泌尿器科学会北陸地方会; 2017 Jun 3; 金沢.
- 19) 上野亨敏, 川筋仁史, 宮嶋友希, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. *Nocardia farcinica* による前立腺膿瘍の一例. 第 232 回日本内科学会北陸地方会; 2017 Jun 18; 富山.
- 20) 兼田磨熙杜**, 辻 泰弘, 上野亨敏, 川筋仁史, 宮嶋友希, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. 12 歳未満の小児におけるリネゾリドに対する TDM の検討. MRSA フォーラム 2017; 2017 Jul 15; 東京.
- 21) 酒巻一平, 川筋仁史, 上野亨敏, 宮嶋友希, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 山本善裕. 健康人に発症した *S.intermedius* と *A.aphophilus* の複数菌感染による脳膿瘍の 1 例. 第 20 回日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会; 2017 Aug 26; 岐阜.
- 22) 東 祥嗣*, 河合暦美, 酒巻一平, 山本善裕. カンジダ血症における原因菌種迅速同定検査法の確立. 第 61 回日本医真菌学会総会・学術集会; 2017 Sep 30-Oct 1; 金沢.
- 23) 山本善裕. ICD 講習会 院内感染対策と真菌症「肺真菌症の感染制御」. 第 61 回日本医真菌学会総会・学術集会; 2017 Sep 30-Oct 1; 金沢.
- 24) 山本善裕. 教育研修講演 抗菌薬適正使用の考え方 ~整形外科領域を含めて~. 第 129 回中部日本整形外外科災害外科学会・学術集会; 2017 Oct 6-7; 富山.
- 25) 山本善裕. 抗菌薬適正使用の考え方 ~薬剤耐性対策アクションプランを含めて~. 第 57 回日本内科学会信越支部生涯教育講演会; 2017 Oct 9; 新潟.
- 26) 辻 泰弘, 山本善裕. パネルディスカッション 感染症領域における治療薬物モニタリング 現状と課題「新規抗 MRSA 薬の TDM と臨床応用」. 第 65 回日本化学療法学会西日本支部総会; 2017 Oct 26-28; 長崎.
- 27) 上野亨敏, 川筋仁史, 宮嶋友希, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. *Nocardia farcinica* による前立腺膿瘍の一例. 第 60 回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2017 Oct 26-28; 長崎.
- 28) 木谷健人, 宮嶋友希, 上野亨敏, 川筋仁史, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. ART 開始後早期に侵襲性肺アスペルギルス症を発症した AIDS の一例. 第 60 回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2017 Oct 26-28; 長崎.
- 29) 滝澤大輝, 川筋仁史, 木谷健人, 上野亨敏, 宮嶋友希, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. 菌球形成を疑う空洞性病変とアスペルギルス抗原陽性により慢性進行性肺アスペルギルス症が疑われた気管支食道瘻の一例. 第 60 回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2017 Oct 26-28; 長崎.
- 30) 門田卓美, 野村伸彦, 満山順一, 浅野裕子, 岩崎博道, 大野智子, 澤村治樹, 柴田尚宏, 末松寛之, 松川洋子, 松原茂規, 山岡一清, 山本善裕, 山岸由佳, 三鴨廣繁. 2015~2016 年に中部地方の医療施設で分離された肺炎球菌の莢膜血清型分布. 第 60 回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2017 Oct 26-28; 長崎.
- 31) 仁井見英樹, 東 祥嗣, 山本善裕. 菌数を敗血症の新規バイオマーカーとする迅速同定検査システムの開発. 第 60 回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2017 Oct 26-28; 長崎.
- 32) 田中知暁, 野村伸彦, 満山順一, 浅野裕子, 岩崎博道, 大野智子, 澤村治樹, 柴田尚宏, 末松寛之, 松川洋子, 松原茂規, 山岡一清, 山本善裕, 山岸由佳, 三鴨廣繁. 2014-2015 年に中部地方の医療施設で分離されたインフルエンザ菌の感受性サーベイランス. 第 60 回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2017 Oct 26-28; 長崎.
- 33) 尾上知佳, 辻 泰弘, 山本善裕. シンポジウム 薬物血中濃度を臨床に活用する方策「ダプトマイシンの TDM の必要性」. 第 64 回日本化学療法学会東日本支部総会; 2017 Oct 31-Nov 2; 東京.
- 34) 仁井見英樹, 東 祥嗣, 山本善裕. 菌数を敗血症の新規バイオマーカーとする起炎菌迅速同定・定量検査システム

の開発. 第 66 回日本感染症学会東日本地方会学術集会; 2017 Oct 31-Nov 2; 東京.

- 35) 木谷健人, 押田達郎, 河岸由紀男, 村中絵美理, 辻 博, 山本善裕. 多彩な所見を伴った *Legionella pneumophila* 血清群 2 型による市中肺炎の 1 例. 第 79 回呼吸器合同北陸地方会; 2017 Nov 11-12; 富山.
- 36) 山本善裕. 抗菌薬適正使用の考え方 ～薬剤耐性対策アクションプランを含めて～. 第 58 回日本内科学会北海道支部生涯教育講演会; 2017 Nov 19; 旭川.

◆ その他

- 1) 山本善裕. 啓発・教育・サーベイランス・・・～ICT としての戦略的な取り組み～. ICT Symposium in Osaka; 2017 Feb 4; 大阪.
- 2) 山本善裕. 呼吸器感染症の最新の話. 第 39 回兵庫呼吸器疾患研究会; 2017 Feb 23; 神戸.
- 3) 山本善裕. 抗菌薬適正使用を考える. 第 2 回長崎県ベーシックセミナー; 2017 Mar 9; 長崎.
- 4) 山本善裕. 健康なのに肺炎予防が必要?. 成人ワクチンお昼の Web 講演会; 2017 Apr 12; 東京.
- 5) 山本善裕. 市中肺炎の治療. 平成 29 年度第 1 回薬剤師抗菌薬化学療法実践教育プログラム; 2017 Apr 16; 神戸.
- 6) 山本善裕. 抗菌薬適正使用の考え方 ～薬剤耐性対策アクションプランを含めて～. 日本病院薬剤師会平成 29 年度感染制御専門薬剤師講習会; 2017 May 20; 京都.
- 7) 山本善裕. 院内感染対策の基本から応用まで ～抗菌薬適正使用の考え方を含めて～. 平成 29 年度第一回愛知県実践感染対策カンファレンス; 2017 May 23; 長久手.
- 8) 山本善裕. 難治化するアスペルギルス症 ～肺アスペルギルス症の脅威～. 第 38 回関東医真菌懇話会; 2017 Jun 10; 東京.
- 9) 山本善裕. 耐性菌感染症に対する最新の治療戦略 ～MRSA 感染症を中心に～. 北信地区 MRSA 講演会; 2017 Jun 16; 長野.
- 10) 山本善裕. 抗菌薬適正使用の考え方 ～薬剤耐性対策アクションプランを含めて～. 日本病院薬剤師会平成 29 年度感染制御専門薬剤師講習会; 2017 Jul 22; 横浜.
- 11) 山本善裕. 私が思う抗菌薬適正使用の考え方. 第 18 回熊本感染症カンファレンス; 2017 Jul 28; 熊本.
- 12) 山本善裕. 薬剤耐性対策アクションプランと抗菌薬適正使用の考え方. 第 19 回新潟県 IC フォーラム; 2017 Jul 29; 新潟.
- 13) 山本善裕. 感染制御の重要性 ～ひとりひとりができること～. 亀田総合病院院内感染対策研修会; 2017 Sep 14; 千葉.
- 14) 山本善裕. 感染制御の重要性 ～ひとりひとりができること～. 感染予防セミナー in 敦賀; 2017 Nov 10; 敦賀.
- 15) 山本善裕. 感染対策の必要性和地域連携. 第 15 回富山県感染対策担当者養成研修会; 2017 Nov 11; 富山.
- 16) 山本善裕. 感染制御の重要性 ～ひとりひとりができること～. 平成 29 年鳥取感染対策セミナー; 2017 Nov 17; 鳥取.
- 17) 山本善裕. 抗菌薬適正使用の考え方 ～薬剤耐性対策アクションプランを含めて～. 平成 29-30 年富山県薬剤師会生涯教育研修会; 2017 Dec 14; 富山.
- 18) 酒巻一平. インフルエンザに関する最新の話. 感染症フォーラム in Toyama; 2017 Jan 26; 富山.
- 19) 酒巻一平. 発熱性好中球減少症 (FN) のマネージメント. 富山県病院薬剤師会感染制御研修会; 2017 Jan 21; 富山.
- 20) 酒巻一平. CVC を挿入した患者が FN を起こした場合, カテーテルの抜去は推奨されるか? ガイドライン委員会企画「発熱性好中球減少症 (FN) ガイドライン改訂版の解説」. 第 15 回日本臨床腫瘍学会; 2017 Jul 27; 神戸.
- 21) 酒巻一平. 薬剤耐性菌と抗菌薬適正使用. 富山県医師会フォローアップ研修; 2017 Sep 2; 富山.
- 22) 酒巻一平. 抗菌薬の基礎知識と適正使用. 第 15 回富山県感染対策担当者養成研修会; 2017 Oct 28; 富山.
- 23) 上野亨敏. 手における非結核性抗酸菌症の 3 例. 第 5 回富山結核・抗酸菌症研究会; 2017 Oct 13; 富山.
- 24) 宮嶋友希. 富山県におけるカンジダ血症診療の実態調査 up to date. 第 5 回富山深在性真菌症研究会; 2017 Jun 29; 富山.